小学校 道徳　中学校 道徳

１　ＩＣＴ活用のポイント

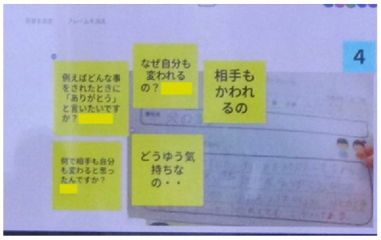
○道徳科の目標に示された学習活動に着目し、より効果的に行うための手段としてＩＣＴを活用する。

○年間や学期という一定の期間を経て評価するためにＩＣＴを活用することが、児童生徒が自己を深く見つめることや教師の負担軽減にもつながる。

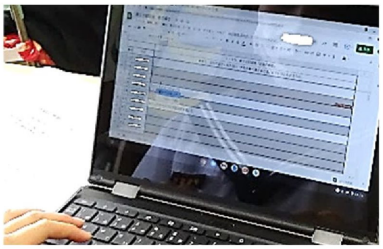
道徳科の目的は道徳性を養うことであり、ＩＣＴはそのための手段の一つです。手段であるはずのＩＣＴが授業の目的とならないよう、指導者が授業のねらいを明確にすることが大切です。どの学習場面でどのようにＩＣＴを活用すると効果的かを検討し、必要な場面で活用するようにしましょう。

２　実際の活用例

・学習支援ソフト等で各自の考えを共有し、議論の根拠とする。

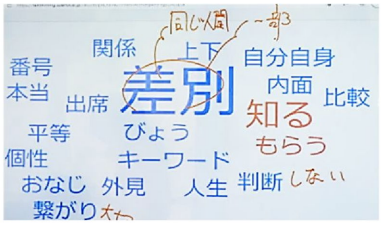


・議論を通して価値に対する理解を深め、自己を見つめ整理した考えを学習支援ソフト等に入力する。

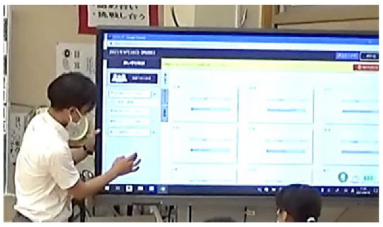


・児童生徒の考えの傾向を可視化し、全員参加の議論の土台をつくる。

・児童生徒の考えを教師が把握し、議論の中の意図的指名につなげる。



○画面上での意見の共有は、あくまで議論の入口です。共有された意見を生かして広げていく、児童生徒同士の議論を大切にしていきましょう。



3　実践事例の紹介

【小学校・６年・道徳・「父の言葉」（B 親切、思いやり）】

育成を目指す資質・能力　A１（教材の提示）　C１（発表や話合い）

「わたし」と「父」の思いや考えの相違点を話し合う活動を通して、本当の親切とは何かを考え、相手のためになる行動についての考えを深め、誰に対しても思いやりの心をもとうとする心情を育てる。

ＩＣＴ活用のポイント【活用したソフトや機能】ホワイトボードソフト　プレゼンテーションソフト　表計算ソフト

・効果的に映像を活用し、教材への導入を図ったり、生徒の意見を可視化したりすることで、ねらいに迫る。
・授業前・授業後に内容項目に関わるアンケートを実施し、どのように児童が変容したのかを見取る。
・協働作業できるホワイトボードソフトを使用することで、瞬時に多くの考えに出合い、多面的・多角的な考えに触れることができる。

学習の流れ

- 内容項目について学習前の考えを明らかにする。
- 登場人物のスライドを使用し教材への導入を図る。
- 登場人物の気持ちを考える。
- 思いやりある行動をとるために大事なことについて考え、話し合う。
- 内容項目について学習後の考えを明らかにし、学習前と比較する。

事例の概要

授業前・授業後に内容項目に関わるアンケートを実施し、どのように児童が変容したのかを表計算ソフトを使って可視化した。このことにより、学習の前後で、自分たちの考えに広がりや深まりがあったことを実感させ、交流のよさに気付かせることができた。

導入時には、プレゼンテーションソフトを使って登場人物について紹介するようにした。

展開時には、児童に考える時間を確保するため、プレゼンテーションソフトを使い、提示方法の工夫を行った。人を思いやる行動をとるためには何が必要なのかを考える場面では、対話を大切にし、直接交流、ホワイトボードソフトを使った文字による交流を３回行うことで、より多くの意見に触れることができ、多面的・多角的に考えることができるようにした。

【中学校・３年・道徳・「ぼくの物語あなたの物語」（Ｃ公正、公平、社会正義）】

育成を目指す資質・能力　B１（個に応じた学習）　C１（発表や話合い）

黒人作家ジュリアス・レスターの人種差別問題についてのメッセージを通して、差別や偏見のない社会を築くために大切な心について考えさせ、公正、公平な行動をとっていこうとする判断力を育てる。

ＩＣＴ活用のポイント　【活用したソフトや機能】　学習支援ソフト　表計算ソフト

・学習支援ソフトを用いて、お互いの考えを共有することで、多角的な見方・考え方に触れることが可能となる。
・互いの考えを視覚的に共有することにより、話合いの視点が明確になり、学習課題に対する意見整理を円滑に進めることが可能になる。

学習の流れ

- 人種や性別などの一部の価値で、人を判断するということに対して問題意識をもつ。
- 「本当の物語」とは何か考える。
- 差別や偏見のない社会の実現に向けて大切なことについて考えを共有し、深める。
- 今後の生活に生かせることを考える。

事例の概要

導入時には、人種・性別・社会的地位などの「ほんの一部」の物語だけで、人を判断してしまうことについて問題提起した。生徒一人一人が問題意識をもった上で授業に臨むことで、作者の思いから差別や偏見のない社会の実現に向けて何が大切なのかについて、自分事として捉え、考えを深めていった。

展開時には、生徒一人一人の考えを表計算ソフトを活用して、学級の考えの傾向として可視化して提示した。可視化したものを全体に共有し、対話を行うことで、話合いの視点が明確になり、多様な考えに触れる中で、自分の考えを更に深めていくことができるようにした。

Ｗｅｂサイトには、上記の実践以外に、次の事例も掲載しています。

○小学校５年・・・「手品師」（A 正直、誠実）・学習支援ソフトを活用した実践

○中学校３年・・・「足袋の季節」（D よりよく生きる喜び）・表計算ソフトを活用した実践